

## 研究情報の公開（オプトアウト）について

臨床研究のうち、患者様への侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究では、国が定めた指針において、対象となる患者さまに研究に関する情報を公開した上で、拒否の機会を保障することが必要とされています。このような手法を「オプトアウト」といいます。以下の研究への協力を希望されない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせをお願い致します。

研究のテーマ (研究番号)	FIM【排尿コントロール】へ与える要因の分析 ～退院時FIM 排尿コントロールの予測精度向上に向けて～ (承認番号：船K2021-2 )
研究責任者	北3回病棟 ケアワーカー 松土明彦
研究の目的 及び意義	<p>回復期リハビリテーション病棟は在宅復帰を大きな目的の一つとしています。在宅復帰が叶う要因として年齢や家族構成・介助者の有無・運動機能・認知機能等様々な要因がありますが、中でも排泄の自立は在宅復帰への重要な要因で、患者本人や家族にとっても強いニーズがあり、退院先を家族が判断する上で退院時の排尿パターンの予測 FIM は重要な指針となっています。その一方で身体機能だけでなく認知機能も関わる排泄パターンの予測 FIM を早期から正確に予測することは困難な状況もあります。先行研究では入院時 FIM と HDS-R の数値が、退院時 FIM 排尿コントロールに関係することが示唆されていますが、研究例が少ないという現状があります。</p> <p>今回収集させて頂くデータをもとに、先行研究と比較して当院の改善の割合がどの程度かを明らかにし、研究対象者のなかで改善した人、しなかった人の差にどのような要因があるのか分析します。また取り組みをまとめ今後 FIM 排尿コントロールが 6 点以上を目指せる方の傾向を明らかにする事を目的としています。</p>
研究期間	2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで
研究の対象となる 患者様	2021 年中に当院に入院実績のある全ての患者様
使用させて頂きたい 情報	電子カルテ上の「新評価チャート」に集約された全ての診療情報。 ただし、氏名や住所などの個人を識別するための情報を除きます。
個人情報の 取り扱い	すべての情報は匿名化し、個人を容易には特定できない形のデータにした状態で、共同研究機関に提供致します。提供された情報は研究機関で学術的、教育的目的で学会発表、論文等に発表することがございます
お問い合わせ先	担当者：医療法人社団輝生会 船橋市立リハビリテーション病院 ケアワーカー 松土明彦 電話番号： 047-439-1200 (代表)